



民主党

神戸市議会

News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161



初の代表質問に立つ大井としひろ議員（7月3日）

初心忘れずがんばります

さる四月十三日に行われました神戸市会議員選挙におきましては、多大なるご支援を賜り、おかげをもちまして、捲土重来、見事当選することが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

六月十一日に神戸市会へ初登壇し、神戸市会議員としての第一歩を踏み出しました。今後とも初心忘れず、安心安全な住みよい須磨の街づくりに全力投球で取り組みます。



安心・安全・住み良い須磨の街づくりに全力投球

神戸市会議員

大井としひろ

建設水道常任委員会委員、空港・新産業に関する特別委員会委員に決まりました。

今、日本は、少子高齢化やグローバル化が急速に進展するなかで、経済社会はデフレの下で低迷を続けております。

私たちの神戸市でも長引く景気の低迷や地価の下落に伴う市税の減収が続く、厳しい状況ですが、神戸経済の活性化と雇用の確保に力点を置いて、雇用問題に真正面から取り組みたいと思います。

六月二十日より始めました第二回定例会におきまして、私は、建設水道常任委員会および空港・新産業に関する特別委員会の委員に選任されました。

議会活動を通じまして、雇用問題、少子高齢化の問題や当面する市政の課題の解決をめざし、皆様方からお寄せいただいたご期待に添うべく精一杯頑張っております。

本会議で代表質問に立つ

七月三日に開かれた第二回定例会の本会議で民主党を代表して、矢田市長ほか市当局に対し代表質問を致しました。

質問の要旨は、①若年者雇用問題について ②経済特区の進捗状況や関連業界との調整に

ついて③SARS対策について④消防職員の殉死事故について⑤保育所の適正配置について⑥JR須磨駅のバリアフリー化について、の六点について伺いし、市長より殉職消防士の慰霊碑を建設する旨の答弁を引き出ししました。

初めての経験でしたが、これからも市民の皆様への代弁者として市民の皆様の声をしり市政に反映していきたいと思っております。

安心・安全な住みよい街づくりのため積極的に政策提言を行ってまいりますので、今後ともご意見、ご要望をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。



市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員

大井としひろ

〒654-0132

神戸市須磨区多井畑南町22-15

TEL・FAX 743-6155

メールアドレス

Kobe-001@efo.eonet.ne.jp

民主党からの正副議長選出は二年連続。矢田市長を支える与党派の中軸として重きを増し、議席増で市政の最大課題である「財政再生」と神戸空港、医療産業など新産業の立地促進、福祉・環境・教育のレベルアップを進める体制がさらに強まりました。



田路副議長(上)と質問する大井議員(下)

働く場を増やす

公約実現に全力

副議長に田路裕規議員

改選後初の神戸市会定例会が六月二十日開かれ、正副議長の選出など新しい議会構成を終えて七月三日閉会しました。民主党は改選前の議席を二議席増やし十六議席とし、市会第一会派の座を確保しました。民主党からは市会副議長に田路裕規議員(選区)、監査委員に土居吉文議員(東灘区)を選出するとともに、総務財政委員会委員長に向山好一議員(北区)、外郭団体に関する特別委員会委員長に白井洋二議員(兵庫区)が就任しました。

民主党は「働く場を増やす」ことを第一に掲げて選挙を闘いました。初の市会では新人・大井敏弘議員(須磨区)が矢田市長に①若年層の失業問題、②新型肺炎(SARS)対策などを質問しました。

この定例会では財産区有土地売却議案など二十二議案が審議可決されました。国への意見書は、①義務教育費国庫負担制度の現行水準維持に関する意見書②WTO(世界貿易機関)の農業交渉における多様な農業の共存できる貿易ルールの確立を要請する意見書が採択されました。

若年層の失業問題

市長、最大限の努力を約束

「若年層の失業問題」をたまたた大井議員に対して、矢田市長は「深刻な事態にあることは同感だが、二万人雇用の公約は目標を上回って達成しているが、表に出ないりストラやミスマッチがある。取り

民主党議員団の新役員が決まりました。

議長	藤原、白井、池田の 三議員が担当します。
相談役	浜本りつ子
団長	萩原 伸秀
幹事長	藤原 武光
政務調査会長	白井 洋二
副幹事長	池田りんたろう
副政務調査会長	向山 好一
幹事	大井 敏弘

組みを着実に進めたい。若年対策で市の対策は限られているが、持てる範囲のことを最大限にやりたい」と答えました。

万全期す新型肺炎対策

新型肺炎対策では、梶本助役が「再流行が懸念される冬場はインフルエンザ対策とともに全力を挙げる。開業医には医師会を通じて最新の情報を伝えている。疑い例の患者は中央市民病院の救急外来にきてもらい、トリアージを受け専用エレベーターで専門スタッフが六階病棟に案内する。非常の時は院外テントの開設も考えている」と再発防止に万全を期していることを明言しました。

「慰霊の碑」設置を検討

消防職員殉職事故では、矢田市長は大井議員の質問に答えて「慰霊の碑」設置を検討していることを明らかにしました。

市会の構成決まる

総務財政委員会	委員長 向山好一
	委員 萩原伸秀
文教経済委員会	委員 鈴木祐治
	委員 田路裕規
	委員 藤原武光
福祉環境委員会	委員 横畑和幸
	委員 土居吉文
建設水道委員会	委員 川原田弘子
	副委員長 橋本秀一
港湾交通委員会	委員 田中健造
	委員 大井敏弘
都市消防委員会	委員 池田りんたろう
	委員 川内清尚
外郭団体に関する特別委員会	委員 白井洋二
	委員 白井洋二
大都市税財政制度確立特別委員会	理事 土居吉文
	委員 川内清尚
空港・新産業に関する特別委員会	委員 藤原武光
	委員 川原田弘子
	委員 横畑和幸
	副委員長 池田りんたろう
	委員 前島浩一
	委員 大井敏弘